

# ぶらネットこまき

<http://www.komakichiku.com/> (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第109号

古牧だより通算203号

## 住民とともに歩む 古牧小学校が創立130周年

市立古牧小学校は今年、創立130周年を迎えます。9月8日(土)には同校で記念式典、記念講演が行われました。

式典で、儀部力創立130周年記念事業実行委員長があいさつ。轟裕明校長は太平洋戦争中、戦後に地域住民が児童に炊き出しをしたことなどをあげ「子どもたちの健康と未来に望みを託した」「校風の道一筋の精神にもとづきたくましく育つことを願っていた」と紹介。「子どもを中心にすえた教育を、学校、家庭、地域とともに進めていく」と述べました。塚田久直名誉実行委員長から記念品が贈呈され、永井克昌教育次長と金澤敦志県議会議員が来賓のあいさつをしました。



児童を代表して児童会長の伊藤未羽さん(6年生)が「先輩のみなさま、地域のみなさま、こんなにもすてきな古牧小学校にしていたただきありがとうございました」と話し、今後も同校を守っていくと誓いました。

記念講演の講師は、「就職はゴールじゃない」でおなじみの上田情報ビジネス専門学校の比田井和孝副校長。「何のために働くか」と問題提起し、幸せは、「多くの人に必要とされること」「仕事は人間性によっている。人間性を磨くことが大切」と語りました。

## 川端区福祉体験学習が開かれる

川端区では8月25日(土)川端区、福祉推進委員会、民生児童委員の主催、身体障害者福祉協会古牧支部川端区分会の後援を受け、川端公民館と川端天神社境内で「福祉体験学習会」が行われ区民31名が参加しました。



古牧福祉サービスセンターの轟明子コーディネーターによる「車椅子の操作

方法と乗車体験」、福祉自動車「あいりーん号」の運用説明の後、山川雄三協力会員による「乗車体験」です。

最後は、巨みどりボランティアコーディネーターと、かがやき広場篠ノ井の風間明代指導員による「高齢者の疑似体験」です。白内障をイメージした眼鏡、重りなどをつけての歩行や、箸での豆つかみ、服のボタン掛けなどの体験をしました。

この会は、2年に1回行われていて、高齢者や障がいを持つ人の生活を理解し、その方々の気持ちを考え、地域での日常生活に活かす事ができるよう計画されたものです。

体験を通じて、高齢者や障がいのある方の日常生活の大変さを感じました。



## 少年少女スポーツ交流会を開催



9月9日(日)に少年少女スポーツ交流会が古牧小学校で開かれました。グラウンドでは、野球3チーム(上高田少年野球、古牧キッズ、緑が丘少年野球部)によるリーグ戦形式の大会を予定していましたが、前日の大雨により大きな水溜まりができ、中止となりました。

体育館での「わくわくスポーツ教室」は飛び入り参加も含め小学生43名、中学生5名が集まりました。

特別講師に元長野パルセイロの三橋亮太さん、日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチの西村陽介さん、シーバス・スポーツクラブフィットネストレーナーの北島博之さんをお迎えし、サッカーボールを使った楽しい運

動プログラムを考えていただき、指導していただきました。

参加した中学生は、「部活でサッカー部に入っているが、今回プロによる本格的な指導を体験したくてきました」と話し、小学生の保護者は、「こういったスポーツ教室に参加させるのは初めて。他の人と交流ができて良い経験になった。家でもできそうな基礎練習がいいですね」と語っていました。

最初は緊張が表情に現れていた子どもたちですが、ゲームの中で人にふれ、心もほぐれ、最後は参加者みんなが笑顔だったのが印象に残る教室となりました。(青少年育成部)

## くりかえさぬ決意

### 古牧地区全戦没者法要



## 第37回 古牧地区防火・防犯・交通安全ポスター表彰式

古牧公民館で9月2日(日)、第37回古牧地区防火・防犯・交通安全ポスター表彰式が開かれ約120名が参加しました。8月18日(土)の審査会で古牧13地区応募作594点から選ばれた18点が表彰されました。

表彰式では、最初に消防団によるDVDで西日本豪雨のお話があり、住人同士の強い「きづな」が大切で、それが大きな災害を防ぐ効果があるとの事でした。また、「命を救うのに理由なんていない」という言葉に感銘を受けました。

講評、来賓の方が、「入選者の子どもたちの防火・防災・交通安全に対する普段からの高い意識が感じられる」「関係のみなさんが、子どもたちの健やかな成長と安心・安全な街づくりに真剣に取り組んでいる」とおっしゃっていただきました。これからもこのような気

持ちを持ち続けることで、みんなが住みよい古牧地区となるでしょう。(防犯部)

### 入賞者 (敬称略)

学年	防火ポスター	交通安全・防犯ポスター
小学校 1年生	東和田 利根川聖嵐	北条 白井 莉愛
	東和田 池上 琉希	東和田 小幡 奏斗
	西和田 井上 果穂	平林 宮澤 郁斗
4年生	西和田 小山 結愛	北条 若林 那奈
5年生	西尾張部 佐久間 唯	西和田 太田 千尋
6年生	川端 宮川 南海	南長池 島崎 咲和
中学校 1年生	上高田 中村 航太	西尾張部 村上 莓花
	西尾張部 勝山 小晴	川端 宮川 七海
	東和田 太田 侑月	川端 関 綾乃

# 祝長寿

## 西和田区が敬老会

西和田区と福祉推進委員会は9月17日（祝）敬老会を開き70人が参加しました。今年米寿を迎えた9名が紹介され、出席されたお一人の方から「このような会に招待いただきありがとうございます」と御礼のお言葉をいただきました。

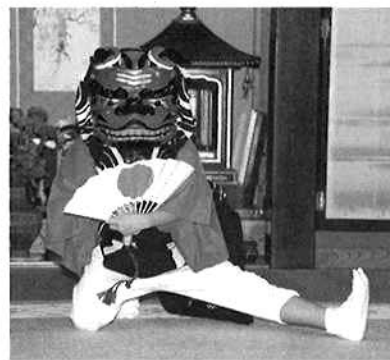
祝賀会では余興として、あすなろ吟道会か

ら詩吟「米寿を賀す」、和謡会から謡曲「嵐山」、リリレファからフラダンス「上を向いて歩こう」を披露。その後、恒例のカラオケ大会に移り、みなさんで楽しみました。お元気で来年も敬老会に参加しようとお誓い合いました。



# 西尾張部神楽保存会 秋季例祭宵祭りで奉納

夏の暑さが緩む頃、夕方になると公会堂から、太鼓と笛の音が聞こえてきます。秋季例祭に向けて西尾張部神楽保存会の練習が、始まりました。



保存会のメンバーは顧問も含め大人20名、大学生・高校生9名、小学生5名の34名です。子どもの保存会員を毎年育成会等を通して募集し

ていますが、なかなか難しいのが現状です。入会すると笛、太鼓から、そして子どもしかできない「三番叟」という舞いを4月から習い始め、秋祭りが近づく頃には「笛、太鼓、

舞い」が、晴れの舞台上で披露できるようになっています。幾種類のお囃子と舞いを少しずつ練習し、習得すると保存会会長から「笛、太鼓、舞い」それぞれ免状が与えられることが励みになり、そして次の子どもたちに教える、これが長いサイクルで回っているのが西尾張部神楽保存会です。

秋季例祭宵祭りの9月15日（土）当日、神楽は区内を巡行した後、八幡神社へ大勢の区民が待っている中、鳥居から入場の花火に迎えられ神楽保存会の宮入道中囃子と共に境内へ入場します。

境内に入ると役者のモチベーションが最高潮に、本殿での本舞い、特設舞台で三番叟舞い、最後に狂い獅子舞いが奉納されたのち、華やかに花火が打ち上げられ宵祭りはフィナーレを迎えます。

## 歴史探索

# ぐるりおがまち

## 東和田

### 東組の庚申さん

古牧郷土史研究会 東和田区 太田正紀

「おこうしんさん」と親しまれている庚申塔。「おこしんぼ」に行くと誰かがいます。人も集まり石塔に乗ったり隠れたり子どもにとっては絶好の遊び場でした。

庚申塔は二基あって、左の自然石は建立年代不明（江戸時代後期か）、中央の石祠（高さ75cm）は慶安三年（1650年）と刻まれている。

ます。右は馬頭観音です。石祠の塔は、入母屋型で祠部に二猿、祠内に三尊、これは長野市の文化財に指定されている中越の庚申塔と年代、形状、石質、作者等も同じで文化財としての価値は十分あると思います。

その昔、ここでも庚申講の祭りも六十日に

次頁につづく

前頁のつづき

かのえさる

一度巡ってくる庚申の日に行われていたと聞きました。中国の道教思想（不老長寿を求め祈禱、呪いを行う）では、人間の体内にいる虫が庚申の夜に体を抜け出して天に登り、天帝（天の神様）に人の罪を告げるといわれ、それによって天帝に命を縮められることがないよう集まって徹夜でお祭りをしました。

江戸時代に盛んになったのは、信仰と共に



幕府や各藩への要求も話し合わせ農民の生活の知恵として利用したとも考えられています。

10月から11月までの主な行事実施日のお知らせ

（多くの皆様の参加をお待ちしています）

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
ふるさと文化芸能祭	11月3日	古牧公民館 古牧小体育館	作品展示 芸能発表	公民館部
男性の料理教室	11月6日	古牧公民館		ボランティアセンター 244-8159
健康食講習会	11月6日	古牧公民館	今回は12月5日（三陽保健センター）	ボランティアセンター 244-8159
学校と地域で 人権を考える集い	11月30日	古牧小学校		人権男女参画部

しゃばえんびつ



さようなら浅見光彦 内田康夫氏逝去

本年3月13日に軽井沢在住の作家内田康夫さんが他界されました。自称「ミステリーファン」の私にとって、内田康夫さんは最も好きな作家の一人でした。大ファンになったのは、軽井沢で一度お会いしたのがきっかけで、それ以前にも何作品かは読んだことがあったのですが、それ以降は出版されたほとんどの作品を読みました。朗らかで誰に対しても気さくな内田さんの性格と、親しみやすく読みやすい文章に魅了されたのでしょうか？

浅見光彦をはじめとする個性的な名探偵を登場させ、日本各地の魅力を再発見させる旅情豊かなミステリーを確立しました。どんでん返し

の大トリックも残酷場面も極端な性的シーンもない、お茶の間のテレビ向きのミステリーではないかと思えます。

内田さんの作品が今後読めないと思うと寂しい限りですが、主な作品の筋書きが頭の中に自然と浮かんできます。内田さんの代名詞ともいえる名探偵浅見光彦にはもっともっと活躍を続けて欲しかったです。

内田作品をご存知でない方はBSテレビでよく放送されますので、ぜひ一度ご覧になってください。長い間一読者・一視聴者として楽しませていただき誠にありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。（園田 孝治）



古牧地区の世帯数と人口

30年9月1日現在

11,385 世帯

26,786 人

（男 13,173人 女 13,613人）

- 発行所 古牧地区住民自治協議会  
（電話259-8359・FAX219-1057）  
（E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp）
- 発行者 金澤 正義
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈱小池印刷